

# 2020中期経営計画 〔2018-2020〕

井関農機株式会社

代表取締役 社長執行役員  
木下 榮一郎

2018年2月15日

# 目次

1. 基本理念・中期ビジョン
2. 2020中期経営計画の位置付け
3. 現状と経営課題
4. 2020中期経営計画 **基本戦略**
5. 2020中期経営計画 **数値目標**



# 1.基本理念・中期ビジョン

## ≡基本理念≡

「需要家に喜ばれる製品の提供」  
を通し わが国並びに世界の農業に貢献する

## ≡中期ビジョン≡

2025年 創立100周年  
国内・海外市場で確固たる地位を築く

## 2.2020中期経営計画の位置付け

≡現中期計画(2016年～2020年)の見直し計画≡

実現に至る道筋を確かなものにするべく  
環境変化を踏まえ残り3年間の戦略を見直し



### 3.現状と経営課題

#### ≡ 過去3年間の実績 ≡

(単位: 億円、%)

	15/12期 調整後実績 ※	16/12期 実績	17/12期 実績
売上高	1,568	1,531	1,584
(国内)	1,254	1,210	1,231
(海外)	314	321	353
営業利益	2	25	40
経常利益	4	16	42
親会社株主に帰属する 当期純利益		9	28

為替	米ドル	119.9	108.6	112.1
レート	ユーロ	134.9	120.1	126.8

※15/12期実績は決算期を変更したため、対象期間を12ヶ月に調整した実績を記載しております。

# 3.現状と経営課題

## 市場環境

国内

### 農業構造変化が想定以上に加速

- ▶ 担い手集中  
(大規模化、低価格化、先端技術)
- ▶ 畑作・野菜作への作付転換

海外

### 引続き需要拡大。低価格志向顕著

- ▶ 北米: 大型農機市場低迷、小型市場(エコノミー)堅調
- ▶ 欧州: コンパクト市場堅調。環境、先端技術需要増
- ▶ アセアン: 農業生産性向上、食料増産により需要拡大
- ▶ 中国: 補助金減額により市場停滞傾向も、  
農業生産性向上政策は継続、引続き需要堅調

## 経営課題

国内市場変化

海外事業領域拡大

収益力と開発・生産最適化

成長に向けた投資

人材育成確保・ガバナンス

## 4.2020中期経営計画 基本戦略

≡キーワード≡

「変革」

『経営の見える化』

『収益にこだわる』

## 4.2020中期経営計画 基本戦略

### ≡ 5つの基本戦略 ≡

➤➤ 1 激変する国内農業への対応強化

---

➤➤ 2 海外事業の拡大

---

➤➤ 3 開発・生産最適化による収益力強化

---

➤➤ 4 成長に向けた積極的な設備投資

---

➤➤ 5 人材・ガバナンス強化による企業価値向上

---



## 4.2020中期経営計画 基本戦略

### 1 激変する国内農業への対応強化

#### 》販売・サービス体制の広域化<ブロック戦略>

農家数減少、大規模化する市場へ対応のため、  
大型整備拠点を核とする広域化した販売・サービス体制に転換

#### 》提案・フォローのサポート力強化

市場ニーズに対応できる人材育成

#### 》収支構造改革

マーケット変化に対応した営業戦略  
売上拡大・粗利率改善・営業費圧縮

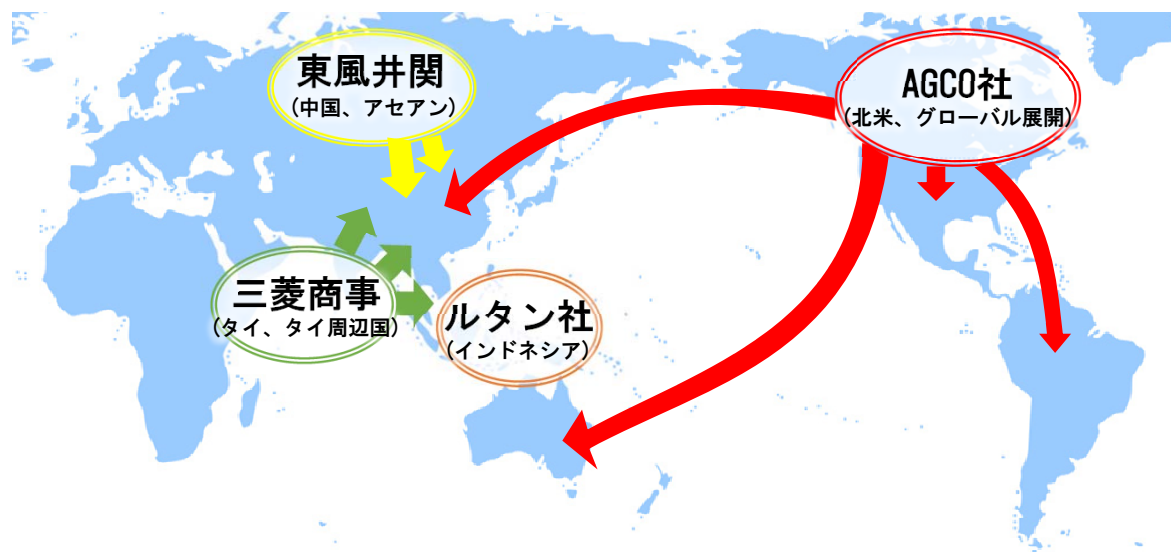
#### 》商品開発の強化

低価格、先端技術、野菜作機械

# 4.2020中期経営計画 基本戦略

## 2 海外事業の拡大

### 戦略パートナーとの提携強化による事業拡大



### 市場にマッチした商品開発・投入

現地法人での商品開発、商品調達推進も

### 部品、アフターサービス事業の充実、拡大

## 4.2020中期経営計画 基本戦略

### 3 開発・生産最適化による収益力強化

激変する国内農業 拡大する海外事業 への対応強化

#### » 海外商品の収益改善

グローバル戦略商品プロジェクト推進部主導・推進

#### » 徹底的な効率化による生産性向上 “ものづくり改革”

設計の標準化・共通化、型式削減

現場改善、間接業務改善強化

#### » 中国事業(東風井関)収益改善と販売力強化

東風井関との連携強化による「見える化」推進

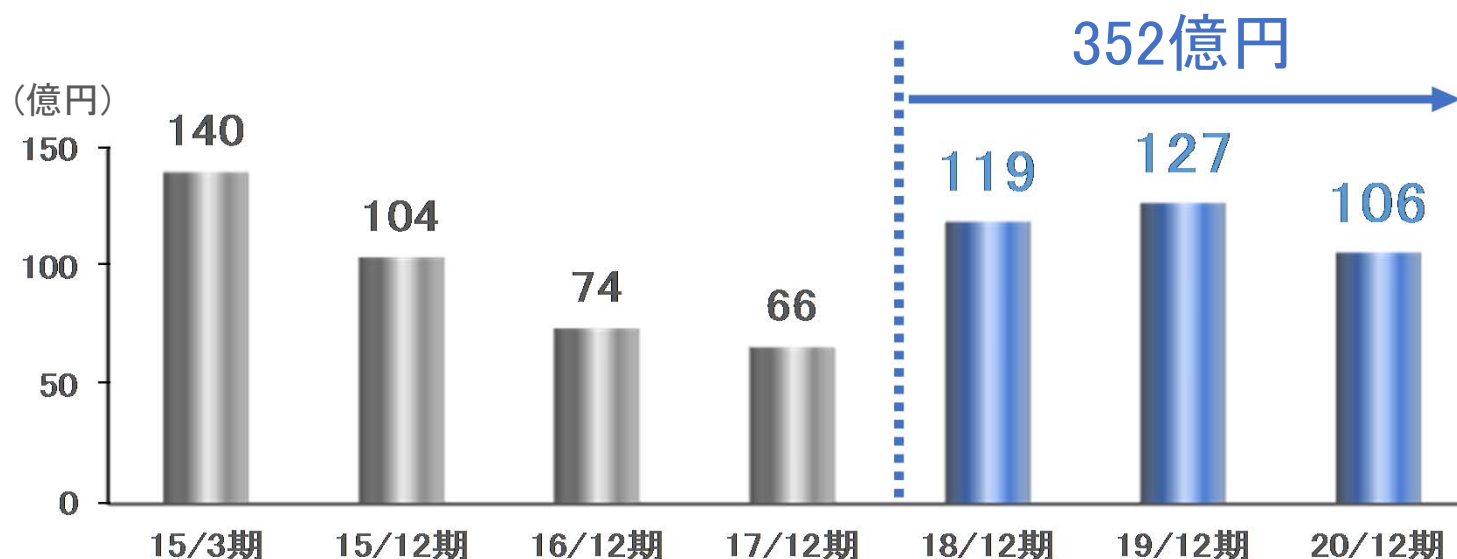
#### » インドネシア事業の更なる収益拡大

#### » 海外生産拠点の増産体制構築

#### » 生産負荷変動への対応力強化

# 4.2020中期経営計画 基本戦略

## 4 成長に向けた積極的な設備投資



### 》主な投資内訳 (3ヵ年)

販売会社大型営業拠点整備 : 82億円  
 生産設備(新機種、生産性向上) : 159億円

# 4.2020中期経営計画 基本戦略

## 5 人材・ガバナンス強化による企業価値向上

### 持続的成長の実現

#### 人づくり(人材育成)

開発	生産	販売・サービス
<b>IETC</b> 設計基本技術 トレーニングセンター  若手設計者の育成	<b>ITTC</b> ISEKIテクニカル トレーニングセンター  国内外の生産現場の リーダー育成	<b>IGTC</b> ISEKIグローバル トレーニングセンター  国内外の セールス・サービスの育成
		

#### 働き方改革・女性活躍(働きやすい職場づくり)

グループをあげて、業務の効率化と女性にも働きやすい職場づくり

## 4.2020中期経営計画 基本戦略

### 5 人材・ガバナンス強化による企業価値向上

#### »法令順守の徹底強化

海外子会社を含めたコンプライアンス強化  
独占禁止法の順守  
適切な個人情報管理、運用

#### »コーポレートガバナンス

取締役会活性化に向けた対応強化  
リスク管理徹底によるリスクの軽減  
フェアディスクロージャールールに対応した適切な情報発信  
個人投資家向け説明会の開催

#### »CSRへの取組み強化

社会からの要請に応える活動を推進強化

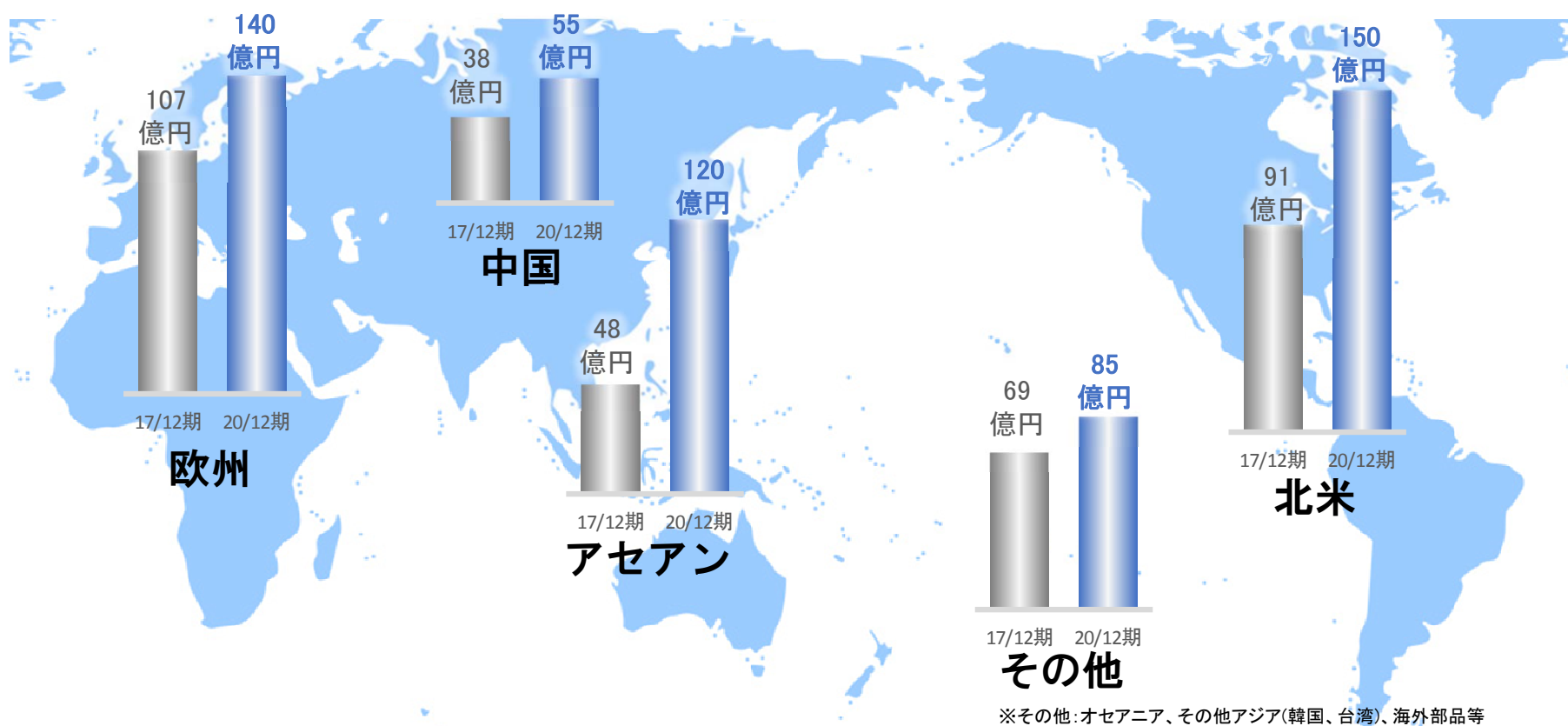
## 5.2020中期経営計画 数値目標

	2017/12期 実績	2020/12期 目標
事業領域拡大	連結売上高	1,584億円 ⇒ 1,900億円
	〔グローバル 海外売上高比率※〕	24% ⇒ 40%
収益性改善	連結営業利益	40億円 ⇒ 90億円
	ROE	4.2% ⇒ 8.0%以上
株主還元	1株あたり 配当額	30円 ⇒ 50円

※グローバル海外売上高比率：持分法適用会社を含む海外売上高比率

# 5.2020中期経営計画 数値目標

## ≡ 海外地域別連結売上高 (参考) ≡





# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。